

# Massenburg DesignWorks®



## MDW®EQ5-UAD Parametric EQ

### プラグイン ガイド

バージョン 1.0

**Massenburg®**  
**DesignWorks**

## 著作権情報

このガイドの権利は Massenburg DesignWorks®, LLC(以下 MDW) によって保有されています。著作権法に基づき、MDW の書面による同意なしにこのガイドのすべて、または一部を複製することはできません。MDW、MDW ロゴ及び IsoPeak® は Massenburg DesignWorks, LLC の商標、および登録商標です。Universal Audio、Universal Audio “ダイヤモンド・ロゴ”、UAD、UAD シリーズ、UAD-1、UAD-2、UAD-2 SOLO、UAD-2 DUO、UAD-2 QUAD、UAD-2 OCTO、“パワードプラグイン”、1176LN、1176SE、Teletronix、LA-2A、LA-3A、LA-610、LA-610MkII、2-1176、2-610、6176、710 Twin-Finity、2192、4-710d、Cambridge EQ、DreamVerb、Plate 140、Precision Limiter、RealVerb Pro、Precision Buss Compressor、Precision De-Esser、Precision Maximizer、Satellite DUO、Satellite QUAD、Apollo、Apollo 16、Apollo Twin、“Analog Ears | Digital Minds,” は、Universal Audio, Inc の商標、および登録商標です。その他、本マニュアルに記載されている社名、商品名は、それぞれ各社の商標、または登録商標です。

# もくじ

---

<b>CHAPTER 1. MDW®EQ-UAD Parametric EQ について</b>	
はじめに	4
<b>CHAPTER 2. MDW®EQ-UAD Parametric EQ を使用する</b>	
MDW®EQ 5-Band プラグイン・ウィンドウ	5
MDW®EQ 3-Band プラグイン・ウィンドウ	6
MDW®EQ のコントロール類	7
MDW®EQ パラメーターの調整	8
バンドのパラメーターをプラグイン内でコピー&ペーストする	9
ISO Peak® モードを使用する	10

## チャプター 1: MDW®EQ5-UAD Parametric EQ について

---

### はじめに

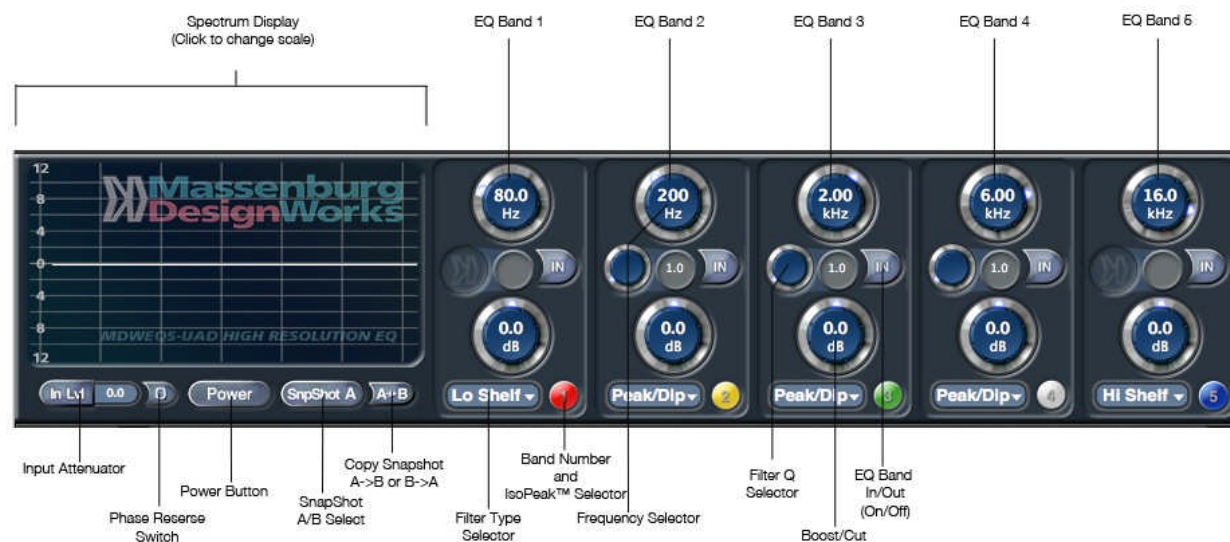
Massenburg DesignWorks のハイリゾリューション EQ (MDW®EQ)プラグインは、レコーディングエンジニア、プロデューサーで有名な George Massenburg が率いるチームによって UA システムのために開発されました。MDW®EQ はこれまでにないほどの明快さと解像度、最高のスムーズさ、そして優れたハイフリーケンシー・レスポンスを実現する内部倍精度の 48 ビット・プロセッシングを備えています。44.1 & 48kHz サンプルングレートで作業する場合、MDW®EQ はすべての EQ 処理を 88.2 & 96kHz にアップサンプルングこれまでにないほどの高域の滑らかさを手に入れることが可能になります。

### 特徴

- ◆ 倍精度 48-ビット・プロセッシング
- ◆ 44.1kHz ~ 192kHz のハイリゾリューション・プロセッシング
- ◆ 業界標準のコンスタントシェイプレシプロ・フィルターカーブ
- ◆ 選択可能なバンド
- ◆ IsoPeak® 機能は、周波数の選択が容易になります。
- ◆ 10 Hz ~ 41 kHz までの幅広い周波数選択
- ◆ スピードと正確性を求めて設計されたプロフェッショナル・インターフェイス

## CHAPTER 2: MDW®EQ5-UAD Parametric EQ を使用する

### MDW®EQ 5-Band プラグイン・ウィンドウ



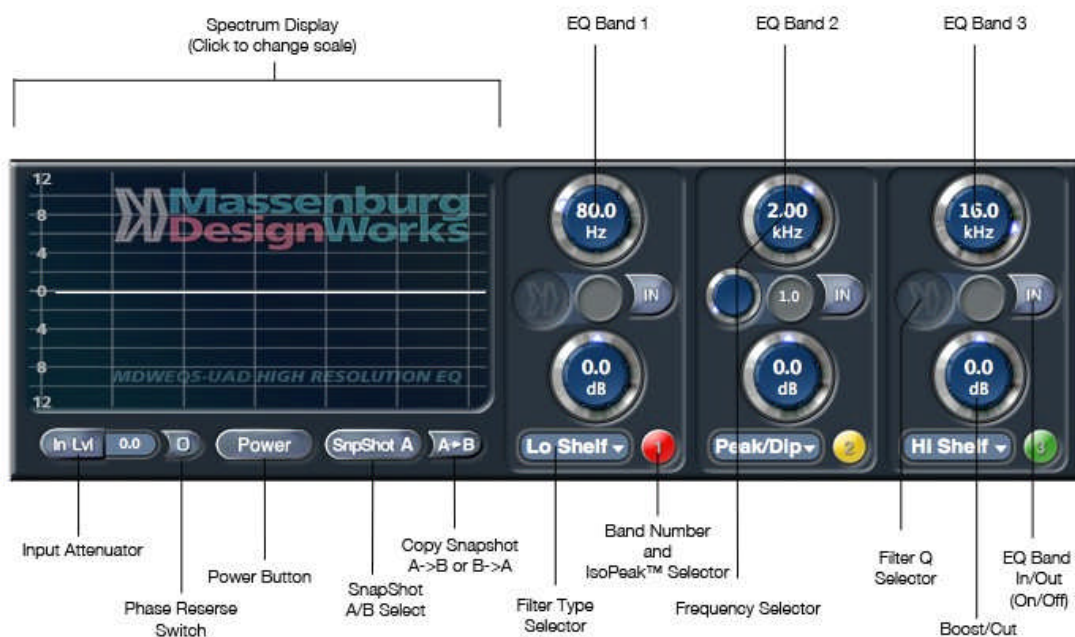
Massenburg DesignWorks の 5-バンド・ハイリゾリューションイコライザーは、直越に接続された 5 つの独立したフィルターバンドを有しています。EQ バンド 1 ~ 4 は、次のように 17 種類のフィルタータイプを個別に設定することができます。:

- ・ピーク / ディップ
- ・ハイフリーケンシー・シェルフ
- ・ローフリーケンシー・シェルフ
- ・ハイパス 6 (6 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ローパス 6 (6 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ハイパス 12 (12 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ローパス 12 (1 dB / オクターブ・スロープ)

フィルターバンド 5 は、以下の 11 種類のフィルタータイプを設定することができます。:

- ・ピーク / ディップ
- ・ハイフリーケンシー・シェルフ
- ・ローフリーケンシー・シェルフ
- ・ハイパス 6 (6 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ローパス 6 (6 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ハイパス 12 (12 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ローパス 12 (12 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ハイパス 18 (18 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ローパス 18 (18 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ハイパス 24 (24 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ローパス 24 (24 dB / オクターブ・スロープ)

## MDW®EQ 3-Band プラグイン・ウィンドウ



Massenburg DesignWorks の 3-バンド・ハイリゾリューションイコライザーは、直越に接続された 3 つの独立したフィルターバンドを有しています。各 EQ バンドは、次のように 17 種類のフィルタータイプを個別に設定することができます。:

- ・ピーク / ディップ
- ・ハイフリークエンシー・シェルフ
- ・ローフリークエンシー・シェルフ
- ・ハイパス 6 (6 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ローパス 6 (6 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ハイパス 12 (12 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ローパス 12 (12 dB / オクターブ・スロープ)
- ・ハイパス 18 (18 dB / オクターブ・スロープ)\* バンド 3 のみ
- ・ローパス 18 (18 dB / オクターブ・スロープ)\* バンド 3 のみ
- ・ハイパス 24 (24 dB / オクターブ・スロープ)\* バンド 3 のみ
- ・ローパス 24 (24 dB / オクターブ・スロープ)\* バンド 3 のみ

スケラブル・ディスプレイは、全体的な EQ の周波数レスポンス・カーブを表示します。すべてのフィルター・パラメーターを独立してオートメーション化することができます。

## MDW®EQ5-UAD のコントロール類

これらのコントロールを使用して MDW®EQ プラグインのパラメーターを調整することができます。

**Spectrum Display Scale** – スペクトラム・ディスプレイをクリックしたままにすると、スペクトル表示の範囲を切り替えるポップアップ・メニューが現れ、必要な目盛りに切り替えることができます。選択可能な範囲は±6、±12、±24 dB の 3 種類です。±6 dB スケールを選択することで、より繊細にイコライザーの調整を行うことができます。この表示を変えることでイコライザーからのオーディオ・アウトプットに影響を与えることはありません。

**Power** – パワーボタンは、EQ プロセッシングがアクティブかどうかを決定します。EQ がオンの場合はボタンが青くなり、バイパス時にはグレーになります。オリジナルのシグナルとプロセッシング後のシグナルを比較する場合にこのスイッチを使用すると便利です。

**Input Attenuator – The Input Attenuator** a オーディオ・インプットをプラグインに合わせて-24 dB ~ +6 dB の間で調整することができます。ドラッグ、またはダブルクリックして数値データを入力してください。

**Phase Reverse Switch** – オーディオの位相を反転させるためには、このスイッチをクリックしてください。EQ が他のチャンネルにリンクされている場合、同様にそのチャンネルも位相が反転します。— これらの位相関係は、セッションの残りのオーディオの位相を反転させたままにします。

**Snapshot A/B Select** – A & B スナップショット機能を使用すると、2 つのスナップショットの設定を比較することができます。A/B それぞれのスナップショット・ボタンを押して 2 つのスナップショットを切り替えることができます。

**Copy Snapshot A→B (Copy Snapshot B→A)** スナップショット A を使用中、スナップショット B にすべての設定をコピーをすることができます。

**Filter Bands** 直列に接続したオーディオシグナルに正確なフィルタリングを提供します。フィルタータイプは、バンドごとに個々に選択可能です。

**Frequency Selector** 選択したフィルターバンドの周波数を設定します。周波数レンジは 10 Hz ~ 41 kHz です。

**Filter Q Selector** 選択したフィルターバンドのピーク / ディップ・フィルターの Q を設定します。

**Cut/Boost** 最高で±24 dB の周波数カット、またはブーストを提供します。

**Filter Type Selector** P ハイパス (6、12 dB/オクターブ)、ローパス (6、12 dB/オクターブ)、ハイシェルフ、ローシェルフ、ピーク/ディップ、またはバイパスから選択することができます。MDW 5-Band EQ のバンド 5 と MDW 3-Band EQ のバンド 3 は、ハイパス 18 とハイパス 24 (18、24 dB/オクターブ) とローパス 18 とローパス 24 を追加で選択可能です。

**Filter In/Out – In/Out ボタン**を使用するとフィルターバンドのオン / オフを切り替えることができます。

**IsoPeak®** – IsoPeak® は、このバンドがソロになることでピーク/ディップ・モードを提供し、一時的にシャープなピークが設定されます。そのバンドの IsoPeak を始めるにはカラーリングされているバンドの番号をクリックしてください。クリックして IsoPeak Q の値を調整するポップアップ・メニューを表示するためにバンドの背景をクリックしたままにしてください。

**Band Pop-up Menu** – IsoPeak® Q の値やコピー & ペーストを個別に行うために各バンドの背景をクリックしたままにしてください。

## MDW® EQ パラメーターの調整

MDW®EQ を使用する際の最良の方法は、トラックにインサートし、リアルタイムにその変化を確認するために再生しながらそのパラメーターを調整することです。

ノブをドラッグするか、ダブルクリックしてテキスト・ディスプレイに値を直接入力して MDW®EQ ノブのパラメーターをエディットすることができます。

マウスを使用してパラメーターをエディットする

マウスを使用して MDW®EQ のノブをコントロールする場合、水平方向、または垂直方向にドラッグして調整することができます。上、または右にドラッグすると値が上昇し、下、または左にドラッグすると値が減少します。

マウスを使用してパラメーターをエディットするには:

- 1 リアルタイムにパラメーターの効果を確認するためにオーディオを再生してください。
- 2 適切な帯域でフィルタータイプ・セレクターのポップアップ・メニューからフィルタータイプを選択してください。
- 3 エフェクトのパラメーターを調整するためにパラメーターノブを垂直、または水平方向にドラッグしてください。



ノブを水平方向にドラッグ



ノブを垂直方向にドラッグ

### キーボード・ショートカット

- 微調整を行う場合: Mac: コマンド + コントロールをドラッグ、Windows: Ctrl + コントロールをドラッグ。
- 値をデフォルトに戻す場合: Mac: Option + コントロールをクリック、Windows: Alt + コントロールをクリック。

キーボードを使用してパラメーターをエディットする

ノブ・コントロールは、現在の値を表示します。その値をダブルクリックするとコンピューターのキーボードを使用して値を入力できるようになります。

コンピューターのキーボードでパラメーターをエディットするには:

- 1 エディットしたい値のテキストをダブルクリックしてください。
- 2 必要な値を入力してください。負の値を入力する際は、数字の前にマイナスを入力してください。一または、値を増やすには上矢印キーを押し、減らすには下矢印キーを押してください。



ヒント: キロヘルツを値として入力する場合、数値の後に“k”を入力すると値に 1000 を掛け算します。例えば周波数の値を 1200Hz とする場合、“1.2k”と入力してください。



マニュアルでコントロールをエディットする(ダブルクリック後)

- 3 選択したテキストボックスに数字キーを使用して直接数値を入力し、エンターを押してください。
  - または、数値を入力してリターン・キーを押してください。

## バンドのパラメーターをプラグイン内でコピー、ペーストする

バンドのパラメーターをコピーする

- コピーしたいバンドの背景をクリックし、ポップアップ表示されるまでホールドしたままにします。その後、“Copy band settings”を選択します。

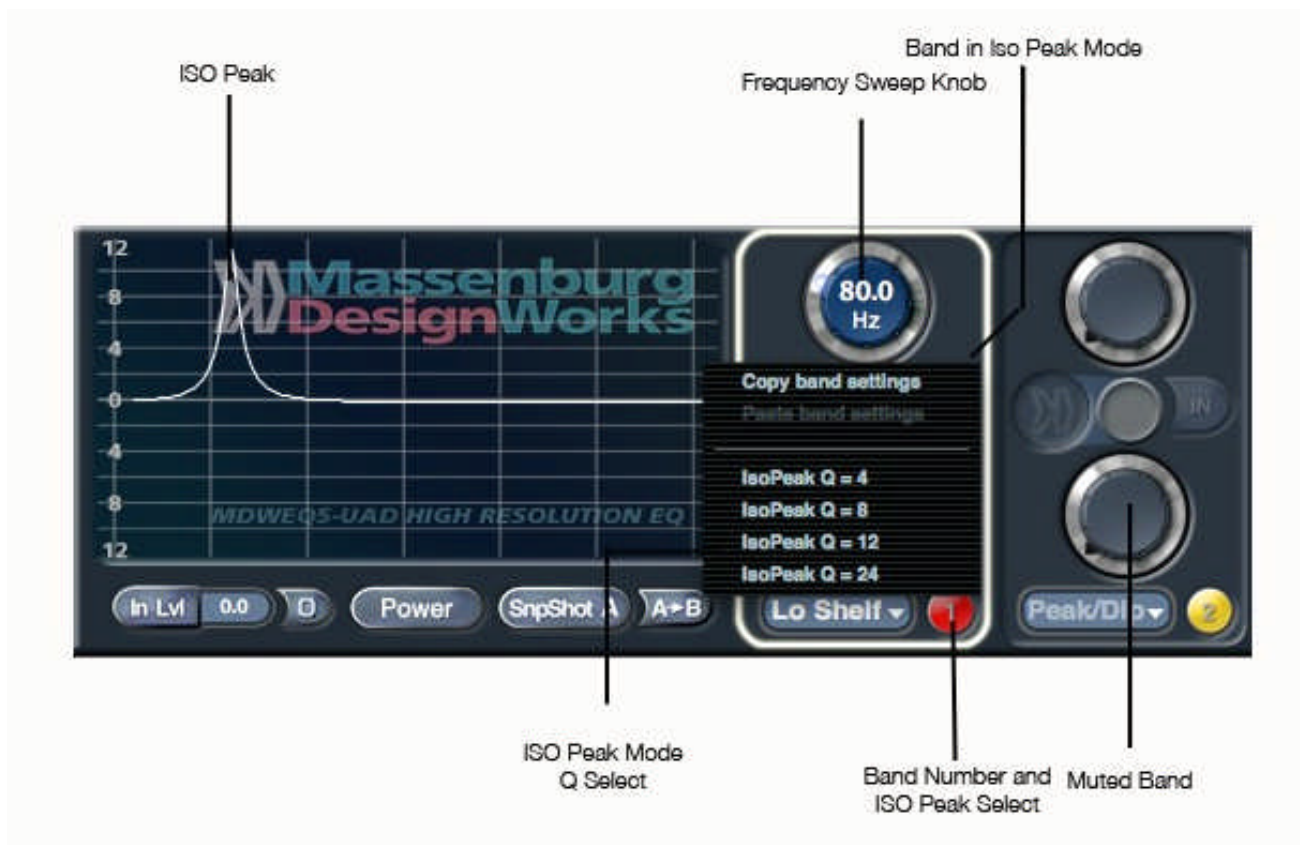


バンドのパラメーターをペーストする

- ペーストしたいバンドの背景をクリックし、ポップアップ表示されるまでホールドしたままにします。その後、“Paste band settings”を選択します。



Using ISO Peak® モードを使用する



- 1 バンド番号をクリックして、IsoPeak® を使用するバンドを選択してください。
- 2 そのバンドだけを IsoPeak® 用に選択し、そのバンドが生成する絶対ピークが聴こえます（非常に狭い音になります）。スペクトラム表示は、モニターしているそのピークを表示します。
- 3 このピークの Q は、バンドのポップアップ・メニューから選択することができます（ポップアップが現れるまでマウスボタンをクリックしたままにしてください）。デフォルト値の Q は、8 です。
- 4 対象領域やアーチファクトが見つけられるよう周波数帯をピークブーストして“スイープ”してください。
- 5 IsoPeak® モードを終了し、通常の操作に戻るには、バンドボタンをクリックしてください。周波数帯を取り除く場合、Q とブースト/カットを調節する必要があります。周波数の値は、IsoPeak® で調整した値になります。

**詳細な情報については、以下にアクセスしてください。:**

[www.massenburgdesignworks.com](http://www.massenburgdesignworks.com)

[www.uaudio.com](http://www.uaudio.com)